

Pulse Sampling Oscillation Unit

取扱説明書



Nippon Computer System
株式会社 **ニコス**

図番 | NCS177999-M010

改版履歴

初版 2018/01/11 初版作成

□□□ 目次 □□□

1. 機能概要.....	5
2. 構成図.....	6
3. 機能詳細.....	7
3.1. サンプリング発振モード.....	7
3.1.1. 制御内容.....	7
3.1.2. 接続例.....	7
3.1.3. 関連設定項目.....	7
3.1.4. 動作例.....	8
3.2. 2点間計測モード.....	10
3.2.1. 制御内容.....	10
3.2.2. 接続例.....	10
3.2.3. 関連設定項目.....	10
3.2.4. 動作例.....	11
3.3. 固定発振モード.....	13
3.3.1. 制御内容.....	13
3.3.2. 接続例.....	13
3.3.3. 関連設定項目.....	13
3.3.4. 動作例.....	14
4. 設定項目.....	15
4.1. 設定項目一覧.....	15
4.2. パラメータ設定項目詳細.....	16
4.2.1. モード.....	16
4.2.2. サンプリング発振モード用 発振条件.....	16
4.2.3. サンプリング発振モード用 自動停止時間.....	16

4.2.4.	2点間計測モード用 2点間距離.....	16
4.2.5.	2点間計測モード用 パルスレート.....	16
4.2.6.	2点間計測モード用 自動停止距離.....	17
4.2.7.	固定発振モード用 停止条件.....	17
4.2.8.	固定発振モード用 発振周波数.....	17
4.2.9.	各モード共通 停止条件.....	17
4.3.	インターフェース設定項目詳細.....	18
4.3.1.	IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ.....	18
5.	メンテナンス機能.....	19
5.1.	WEB機能.....	19
5.1.1.	モニタ画面.....	20
5.1.2.	設定画面.....	21
5.2.	タッチパネル機能(オプション).....	22
5.2.1.	モニタ画面.....	23
5.2.2.	設定画面1.....	24
5.2.3.	設定画面2.....	25
5.2.4.	Loginウィンドウ.....	26
5.2.5.	オフラインモードでの操作.....	27
5.3.	本体ネットワーク設定の初期化.....	33
6.	付録.....	34
6.1.	諸元.....	34
6.2.	外形図.....	36
6.3.	設定表.....	38

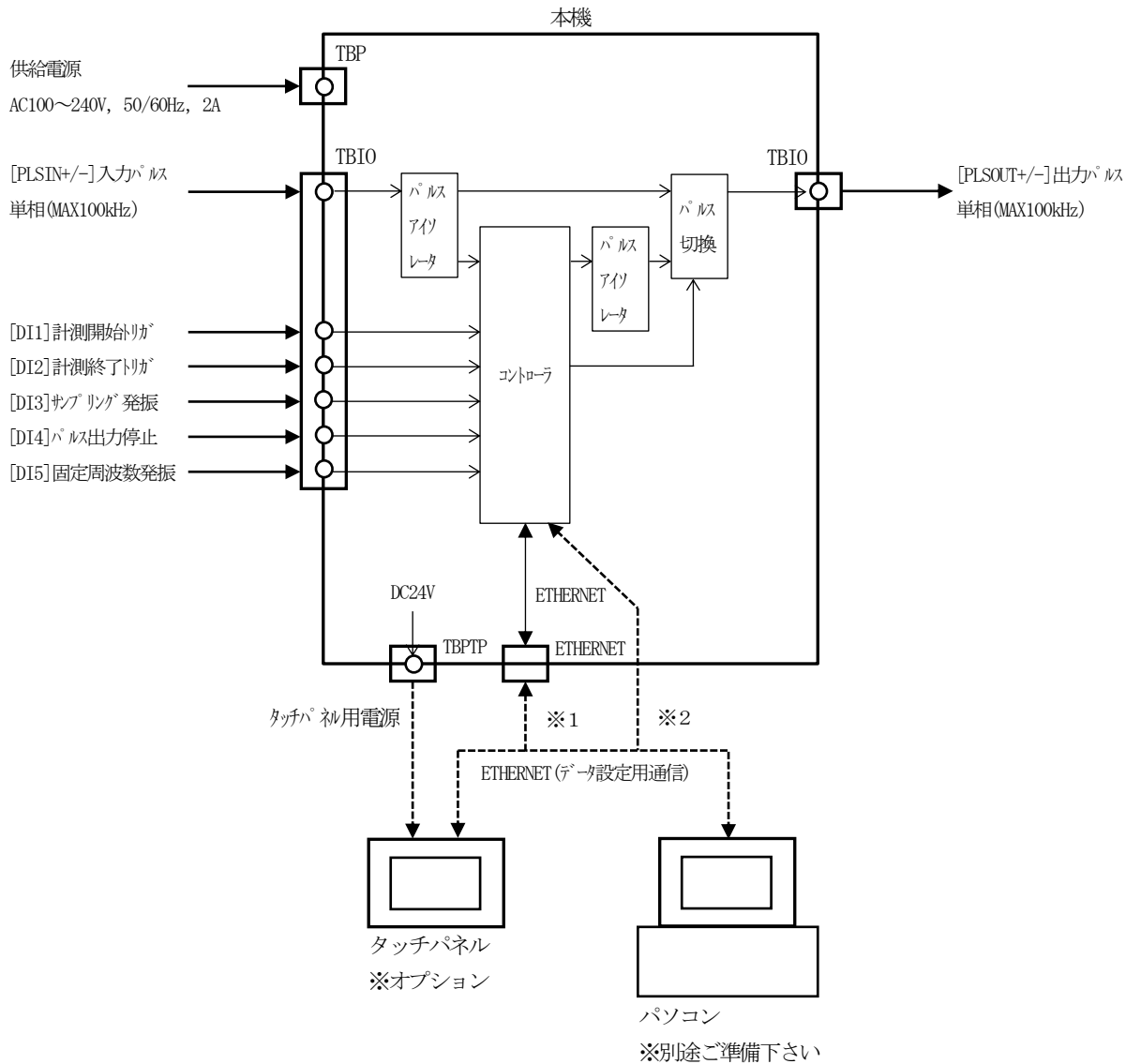
1. 機能概要

『Pulse Sampling Oscillation Unit』（以降、本機）は、指定のモードにより周波数を決定し発振を行います。発振可能範囲は100kHzまでです。

指定出来るモードは、下記の3通りあります。モードの指定及び各パラメータの設定は、WEB画面またはタッチパネル（オプション）より行うことが出来ます。

モード	概要
サンプリング発振モード	外部から入力された周波数を使用します。 エンコーダからの発振を、擬似的に保持させることが出来ます。
2点間計測モード	2点間の通過時間より周波数を決定します。 エンコーダが無い場合に、2点のセンサ入力にてエンコーダの代用を行うことが出来ます。
固定発振モード	設定した周波数を使用します。 固定の周波数を発振し、機器の動作確認などを行うことが出来ます。前述のモードの補助として用意しています。

2. 構成図



※1) ケース実装時は「ETHERNET」コネクタへ接続します。

※2) DINレール取付(ケース無)時は「ETHERNET」コネクタは実装されません。コントローラへ直接接続します。

3. 機能詳細

3.1. サンプルング発振モード

3.1.1. 制御内容

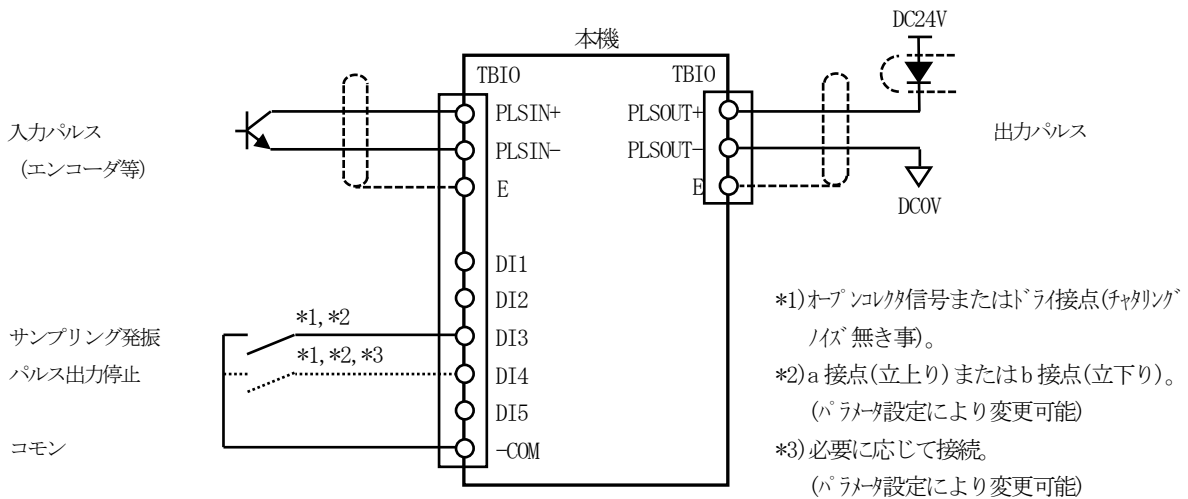
『[PLSIN+/-]入力パルス』から入力されたパルス列の周波数を計測し、『[DI3]サンプルング発振』信号の入力時点の周波数にて内部発振を行い出力します。

内部発振の停止は、自動停止時間又は『[DI4]パルス出力停止』信号の入力により行います。

内部発振の停止時は、『[PLSIN+/-]入力パルス』から入力されたパルス列がそのまま出力されます。

内部発振中に『[DI3]サンプルング発振』信号の入力が有った場合、その時点での計測周波数に切替えて内部発振を行います。

3.1.2. 接続例



3.1.3. 関連設定項目

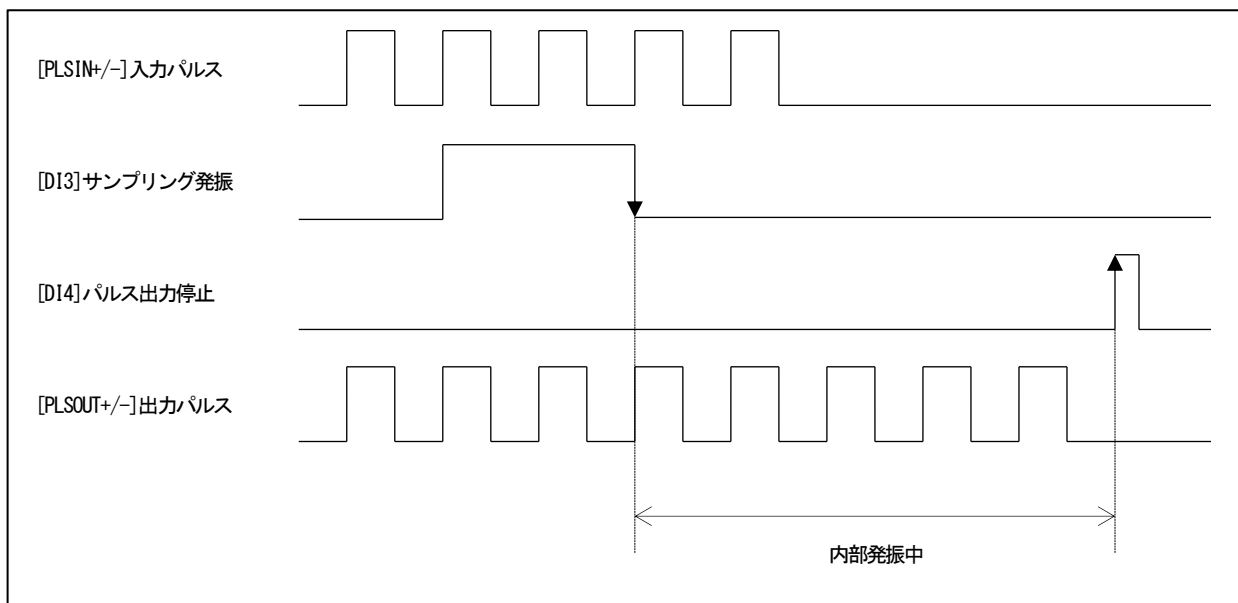
項目	設定値	備考
モード	サンプルング発振	(「4.2.1. モード」参照)
サンプルング発振モード用		
発振条件	[DI3] サンプルング発振 立上り [DI3] サンプルング発振 立下り	(「4.2.2. サンプルング発振モード用 発振条件」参照)
自動停止時間	0~9,999[s]	0 設定時自動停止無効 (「4.2.3. サンプルング発振モード用 自動停止時間」参照)
各モード共通		
停止条件	[DI4] パルス出力停止 立上り [DI4] パルス出力停止 立下り	(「4.2.9. 各モード共通 停止条件」参照)

3.1.4. 動作例

■ケース 1：サンプリング発振モードの基本動作

パラメータ設定は下記の通り。

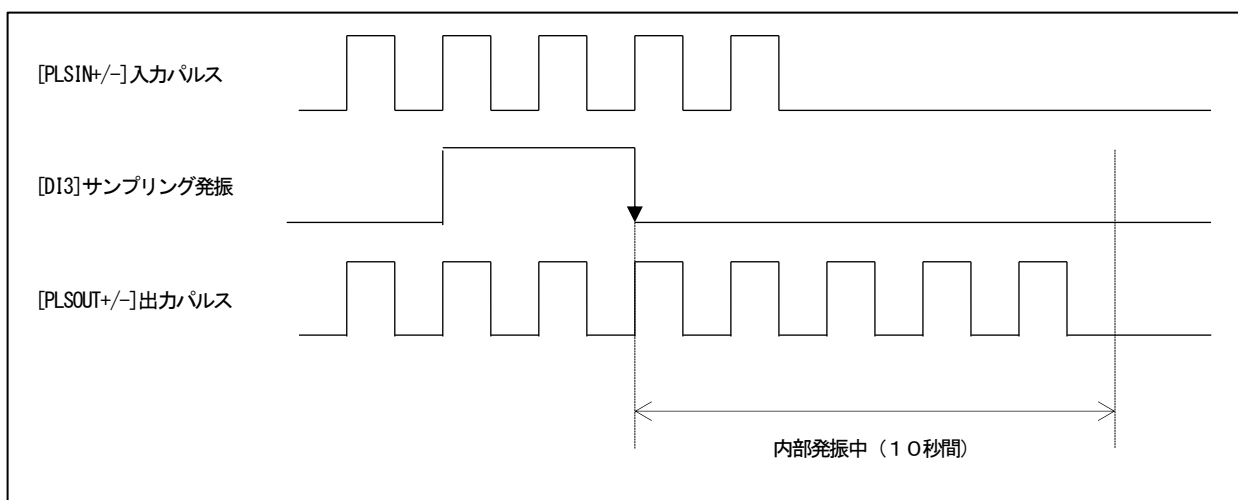
- モード 『サンプリング発振』
- サンプリング発振モード用 発振条件 『[DI3]サンプリング発振 立下り』
- サンプリング発振モード用 自動停止時間 『0[s]』
- 各モード共通 停止条件 『[DI4]パルス出力停止 立上り』



■ケース 2：内部発振の時間による自動停止

パラメータ設定は下記の通り。

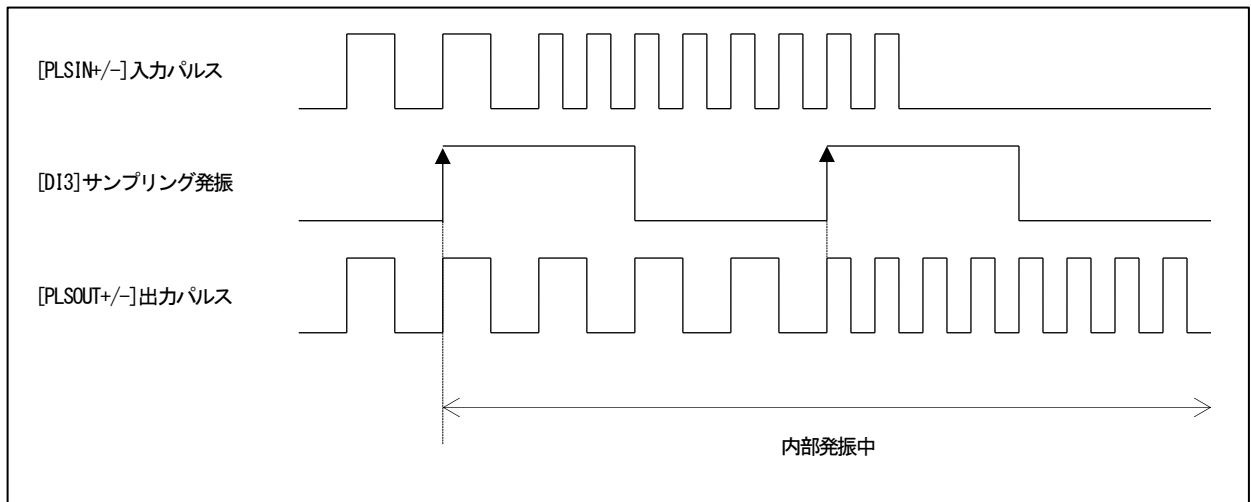
- モード 『サンプリング発振』
- サンプリング発振モード用 発振条件 『[DI3]サンプリング発振 立下り』
- サンプリング発振モード用 自動停止時間 『10[s]』



■ケース3：内部発振中のサンプリング発振要求

パラメータ設定は下記の通り。

- モード 『サンプリング発振』
- サンプリング発振モード用 発振条件 『[DI3]サンプリング発振 立上り』
- サンプリング発振モード用 自動停止時間 『0[s]』



3.2. 2点間計測モード

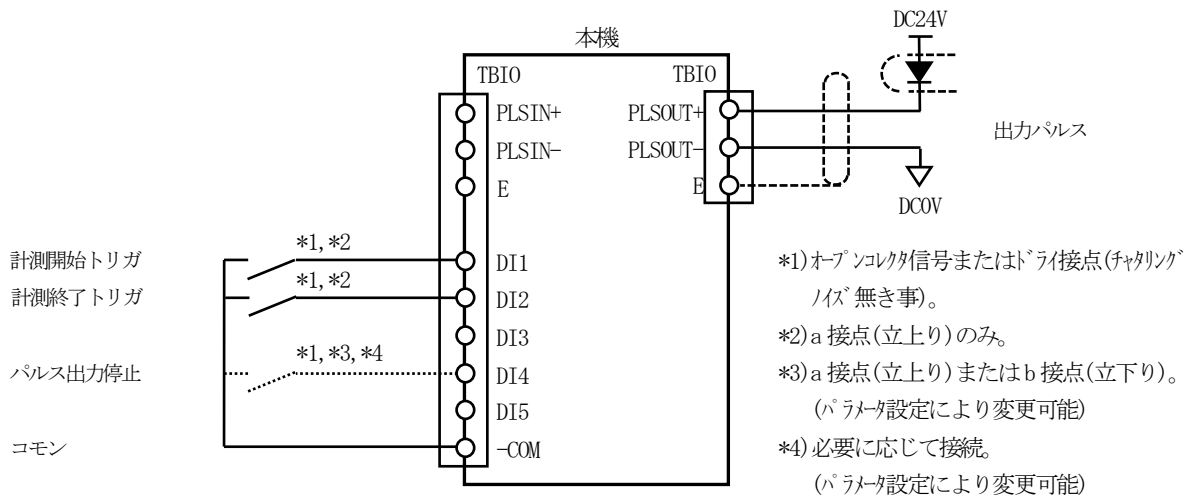
3.2.1. 制御内容

『[DI1]計測開始トリガ』信号の立上りから『[DI2]計測終了トリガ』信号の立上りまでの時間を計測し、周波数を算出します。その後即時に内部発振を開始します。

予めパラメータ設定にて、2点間距離とパルスレートの設定が必要です。

内部発振の停止は、自動停止距離又は『[DI4]パルス出力停止』信号の入力により行います。

3.2.2. 接続例



3.2.3. 関連設定項目

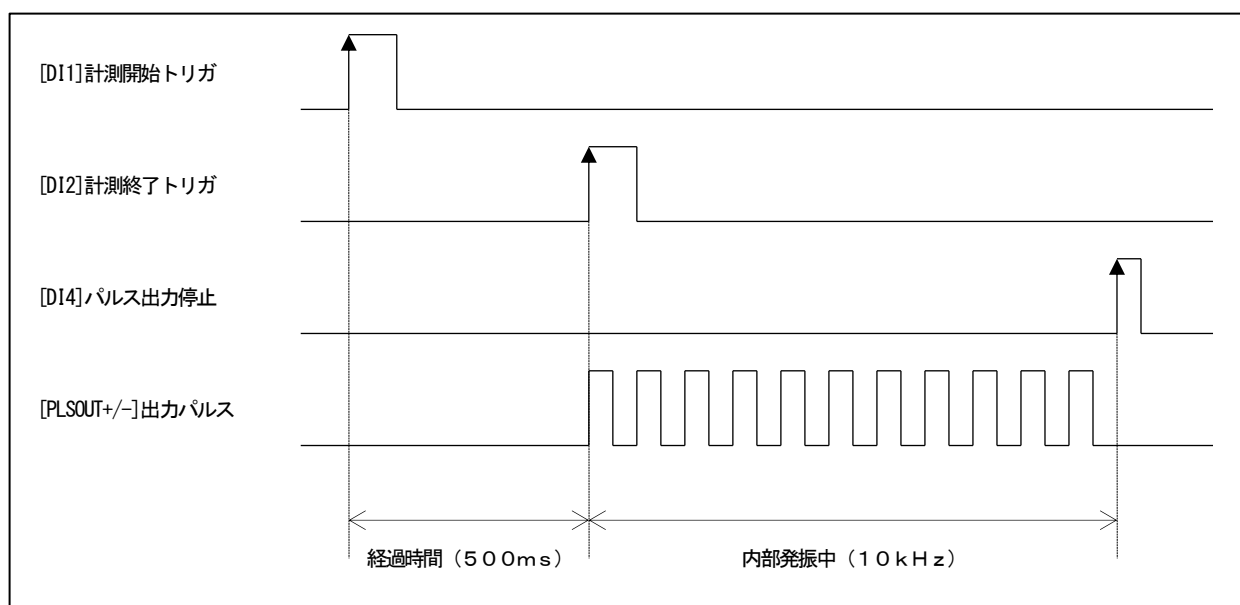
項目	設定値	備考
モード	2点間計測	(「4.2.1. モード」参照)
2点間計測モード用		
2点間距離	1~9,999 [mm]	(「4.2.4. 2点間計測モード用 2点間距離」参照)
パルスレート	0.00000001~999.99999999 [mm/pulse]	(「4.2.5. 2点間計測モード用 パルスレート」参照)
自動停止距離	0~99,999 [mm]	0 設定時自動停止無効 (「4.2.6. 2点間計測モード用 自動停止距離」参照)
各モード共通		
停止条件	[DI4]パルス出力停止 立上り [DI4]パルス出力停止 立下り	(「4.2.9. 各モード共通 停止条件」参照)

3.2.4. 動作例

■ケース1：2点間計測モードの基本動作

パラメータ設定は下記の通り。

- モード 『2点間計測』
- 2点間計測モード用 2点間距離 『500[mm]』
- 2点間計測モード用 パルスレート 『0.1[mm/pulse]』
- 2点間計測モード用 自動停止距離 『0[mm]』
- 各モード共通 停止条件 『[DI4]パルス出力停止 立上り』



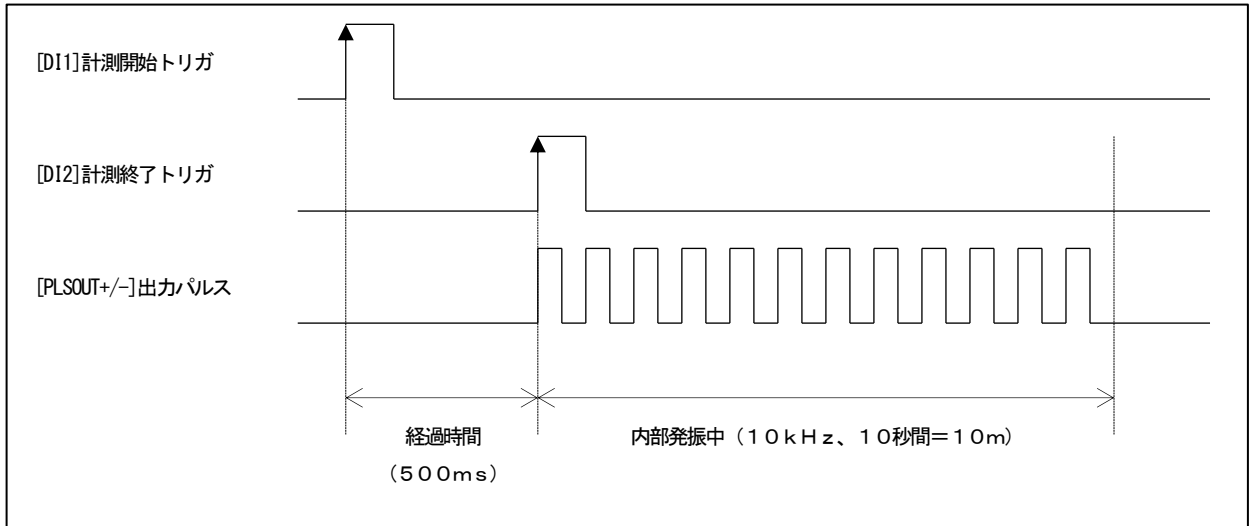
※[DI1]計測開始トリガの入力が無い状態で、[DI2]計測終了トリガが入力された場合、無視されます。

※[DI1]計測開始トリガが複数回検出された場合、最後の検出からの計測となります。

■ケース 2：内部発振の距離による自動停止

パラメータ設定は下記の通り。

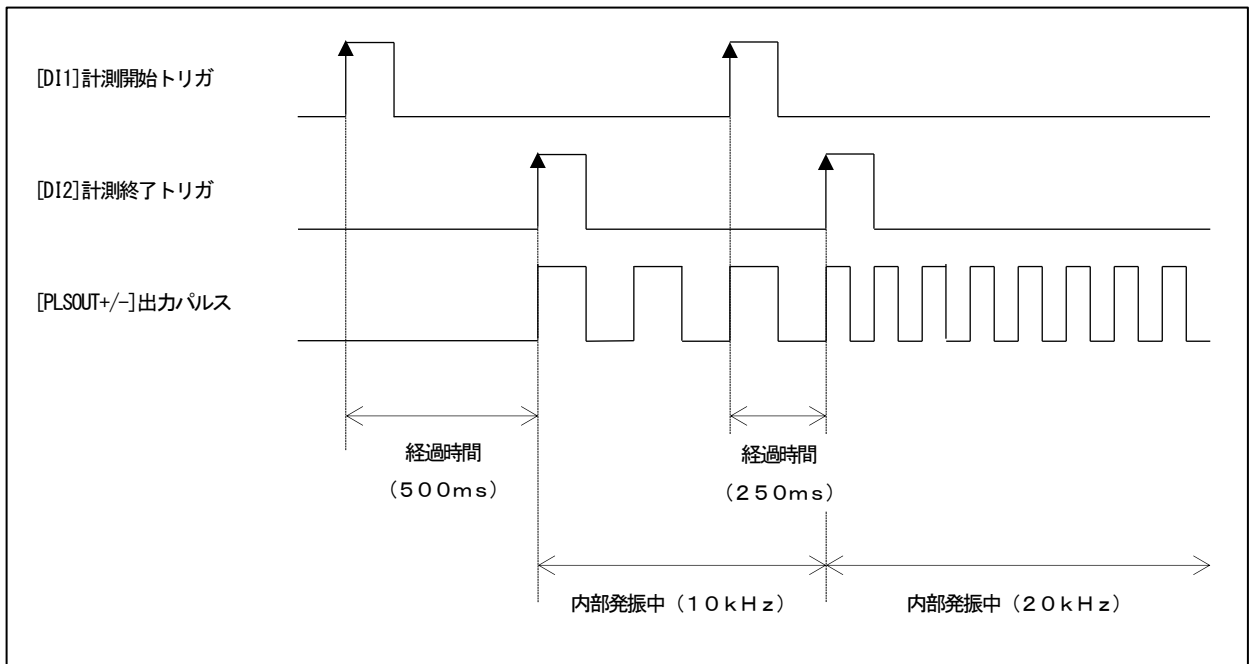
- モード 『2点間計測』
- 2点間計測モード用 2点間距離 『500[mm]』
- 2点間計測モード用 パルスレート 『0.1[mm/pulse]』
- 2点間計測モード用 自動停止距離 『10,000[mm]』



■ケース 3：内部発振中の2点間通過検出

パラメータ設定は下記の通り。

- モード 『2点間計測』
- 2点間計測モード用 2点間距離 『500[mm]』
- 2点間計測モード用 パルスレート 『0.1[mm/pulse]』
- 2点間計測モード用 自動停止距離 『0[mm]』



3.3. 固定発振モード

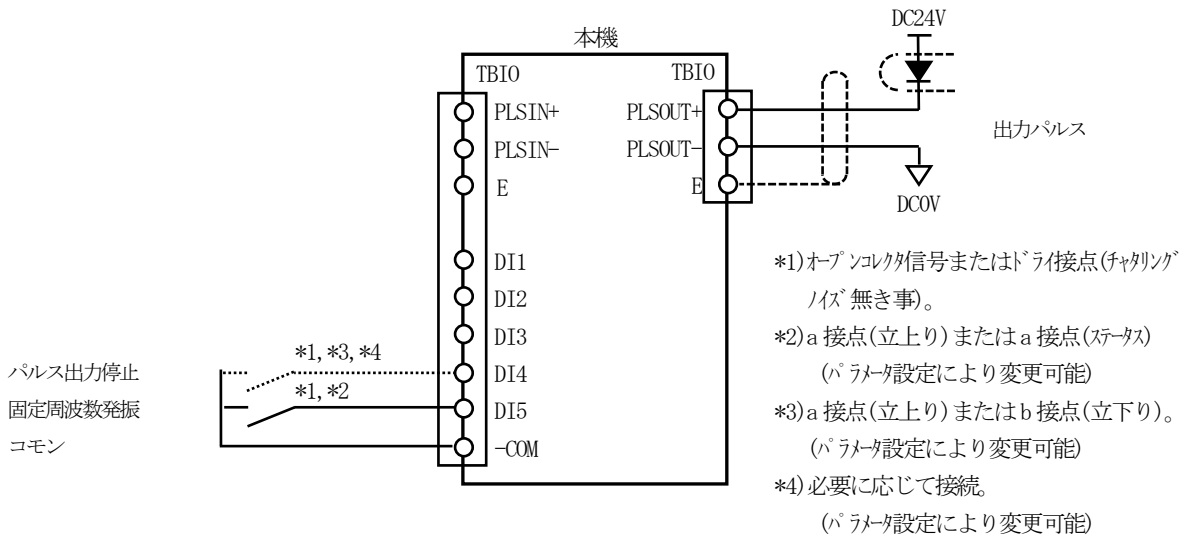
3.3.1. 制御内容

『[DI5]固定周波数発振』信号の立上りにより設定した周波数にて発振を行います。

予めパラメータ設定にて、発振周波数の設定が必要です。

内部発振の停止は、『[DI5]固定周波数発振』信号の立下り又は『[DI4]パルス出力停止』信号の入力により行います。

3.3.2. 接続例



3.3.3. 関連設定項目

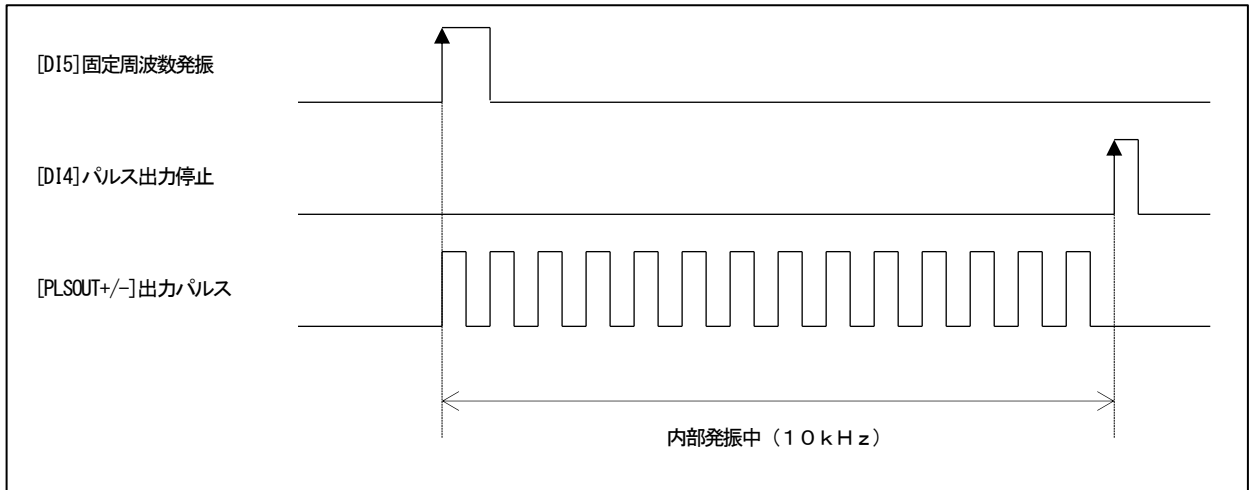
項目	設定値	備考
モード	固定発振	(「4.2.1. モード」参照)
固定発振モード用		
停止条件	無効 [DI5]固定周波数発振 立下り	(「4.2.7. 固定発振モード用 停止条件」参照)
発振周波数	1~100,000 [Hz]	(「4.2.8. 固定発振モード用 発振周波数」参照)
各モード共通		
停止条件	[DI4]パルス出力停止 立上り [DI4]パルス出力停止 立下り	(「4.2.9. 各モード共通 停止条件」参照)

3.3.4. 動作例

■ケース 1：固定発振モードの基本動作

パラメータ設定は下記の通り。

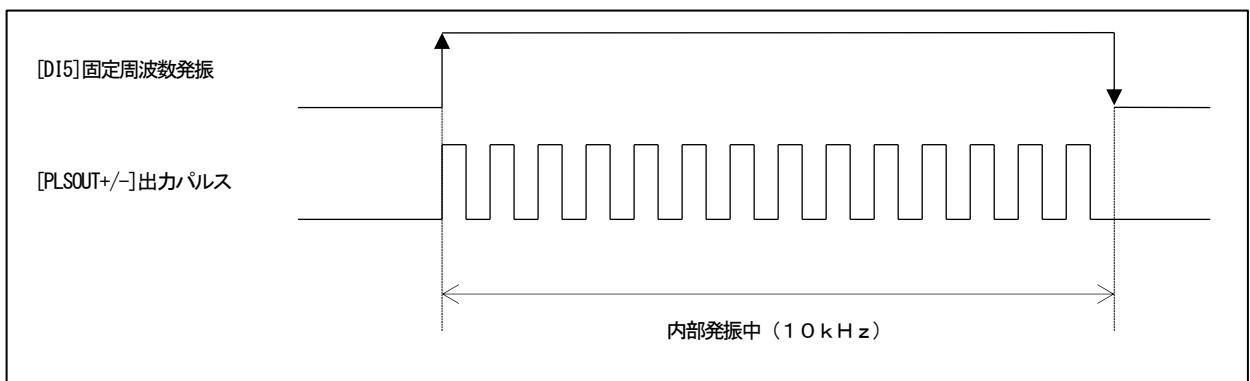
- モード 『固定発振』
- 固定発振モード用 停止条件 『無効』
- 固定発振モード用 発振周波数 『10,000[Hz]』
- 各モード共通 停止条件 『[DI4]パルス出力停止 立上り』



■ケース 2：『[DI5]固定周波数発振』信号一点での動作

パラメータ設定は下記の通り。

- モード 『固定発振』
- 固定発振モード用 停止条件 『[DI5]固定周波数発振 立下り』
- 固定発振モード用 発振周波数 『10,000[Hz]』



4. 設定項目

4.1. 設定項目一覧

■ パラメータ設定

項目	設定値	備考
モード	サンプリング発振 (出荷時) 2点間計測 固定発振	
サンプリング発振モード用		
発振条件	[DI3]サンプリング発振 立上り [DI3]サンプリング発振 立下り (出荷時)	
自動停止時間	0～9,999[s] (出荷時0[s])	0 設定時自動停止無効
2点間計測モード用		
2点間距離	1～9,999[mm] (出荷時500[mm])	
パルスレート	0.00000001～999.99999999[mm/pulse] (出荷時0.1[mm/pulse])	
自動停止距離	0～99,999[mm] (出荷時0[mm])	0 設定時自動停止無効
固定発振モード用		
停止条件	無効 (出荷時) [DI5]固定周波数発振 立下り	
発振周波数	1～100,000[Hz] (出荷時10,000[Hz])	
各モード共通		
停止条件	[DI4]パルス出力停止 立上り (出荷時) [DI4]パルス出力停止 立下り	

■ インターフェース設定 (※WEB機能からのみ設定可)

項目	設定値	備考
IP アドレス	192.168.2.128 (出荷時)	IPv4
サブネットマスク	255.255.255.0 (出荷時)	
ゲートウェイ	0.0.0.0 (出荷時)	

4.2. パラメータ設定項目詳細

4.2.1. モード

本機の動作内容を設定します。

設定値	内容
サンプリング発振モード	「サンプリング発振モード」を実行します。
2点間計測モード	「2点間計測モード」を実行します。
固定発振モード	「固定発振モード」を実行します。

4.2.2. サンプリング発振モード用 発振条件

サンプリング発振モード時に、内部発振を開始する条件を設定します。

設定値	内容
[DI3]サンプリング発振 立上り	『[DI3]サンプリング発振』信号の立上りにて、内部発振を開始します。
[DI3]サンプリング発振 立下り	『[DI3]サンプリング発振』信号の立下りにて、内部発振を開始します。

4.2.3. サンプリング発振モード用 自動停止時間

サンプリング発振モード時に、内部発振を自動で停止する時間を設定します。

設定値	内容
0[s]	自動停止を使用しません。
1～9,999[s]	内部発振開始後に指定時間経過にて内部発振を停止します。

4.2.4. 2点間計測モード用 2点間距離

2点間計測モード時に、2点間の通過時間から周波数を算出する際に使用します。

設定値	内容
1～9999[mm]	『[DI1]計測開始トリガ』と『[DI2]計測終了トリガ』に接続するセンサ間の距離を設定します。

4.2.5. 2点間計測モード用 パルスレート

2点間計測モード時に、2点間の通過時間から周波数を算出する際に使用します。

設定値	内容
0.0000001～999.99999999 [mm/pulse]	『[PLSOUT+/-]出力パルス』に接続する機器の仕様により決定して下さい。

4.2.6. 2点間計測モード用 自動停止距離

2点間計測モード時に、内部発振を自動で停止する距離を設定します。

設定値	内容
0[mm]	自動停止を使用しません。
1~99,999[mm]	内部発振開始後に指定距離を通過後に内部発振を停止します。距離は2点間を通過した時間より推定されます。

4.2.7. 固定発振モード用 停止条件

固定発振モード時に、『[DI3]固定周波数発振』信号による停止処理を使用するか設定します。

設定値	内容
無効	『[DI3]固定周波数発振』信号による停止処理を使用しません。『[DI4]パルス出力停止』信号でのみ停止が可能です。
[DI5]固定周波数発振 立下り	『[DI3]固定周波数発振』信号の立下りにて、内部発振を停止します。

4.2.8. 固定発振モード用 発振周波数

固定発振モード時に、内部発振する周波数を設定します。

設定値	内容
1~100,000[Hz]	内部発振時に、設定した周波数を出力します。

4.2.9. 各モード共通 停止条件

『[DI4]パルス出力停止』信号はモードに依らず常に有効です。

設定値	内容
[DI4]パルス出力停止 立上り	『[DI4]パルス出力停止』信号の立上りにて内部発振を停止します。
[DI4]パルス出力停止 立下り	『[DI4]パルス出力停止』信号の立下りにて内部発振を停止します。

4.3. インターフェース設定項目詳細

本体インターフェースの設定を変更します。本項目はWEB機能からのみ変更出来ます。

4.3.1. IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ

本機のETHERNETポートの設定を行います。変更後は自動的に再起動し設定が反映されます。タッチパネル（オプション）を使用している場合は、別途タッチパネル側のインターフェース設定も変更する必要があります。

設定値	内容
IPアドレス	本機のETHERNETポートの設定を行います。
サブネットマスク	
ゲートウェイ	

5. メンテナンス機能

5.1. WEB機能

本機の動作状況のモニタ及びメンテナンスをWEB画面より行う事が出来ます。メンテナンスに使用するパソコンは、別途ご準備下さい。下記手順により接続下さい。

1. パソコンの通信設定を変更します。(下記設定例は本機が出荷時状態であることを想定しています。インターフェース設定を変更された場合は、変更内容に合わせた値をご使用下さい。)

【Microsoft Windows 7 / 8.1】の場合

- ① [コントロールパネル]>[ネットワークの状態とタスクの表示]>[アダプターの設定の変更]の順で選択し、「ネットワーク接続」を表示します。
- ② 「ネットワーク接続」より使用する接続 (ex. ローカル エリア接続) を右クリックし[プロパティ]を選択します。
- ③ 表示されたプロパティより、[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し[プロパティ]をクリックします。
- ④ [次の IP アドレスを使う]をチェックし、[IP アドレス]に「192.168.2.10」、[サブネット マスク]に「255.255.255.0」を入力し[OK]をクリックします。

【Microsoft Windows 10】の場合

- ① [設定]>[ネットワークとインターネット]>[イーサネット]>[アダプターのオプションを変更する]の順で選択し、「ネットワーク接続」を表示します。
- ② 「ネットワーク接続」より使用する接続 (ex. ローカル エリア接続) を右クリックし[プロパティ]を選択します。
- ③ 表示されたプロパティより、[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し[プロパティ]をクリックします。
- ④ [次の IP アドレスを使う]をチェックし、[IP アドレス]に「192.168.2.10」、[サブネット マスク]に「255.255.255.0」を入力し[OK]をクリックします。



2. 正面の ETHERNET ポートに LAN ケーブルでパソコンを接続します。
3. ブラウザにて URL へ「<http://192.168.2.128>」(出荷時設定) と入力し決定します。以上で、『モニタ画面』(「5.1.1 モニタ画面 参照」)が表示されます。

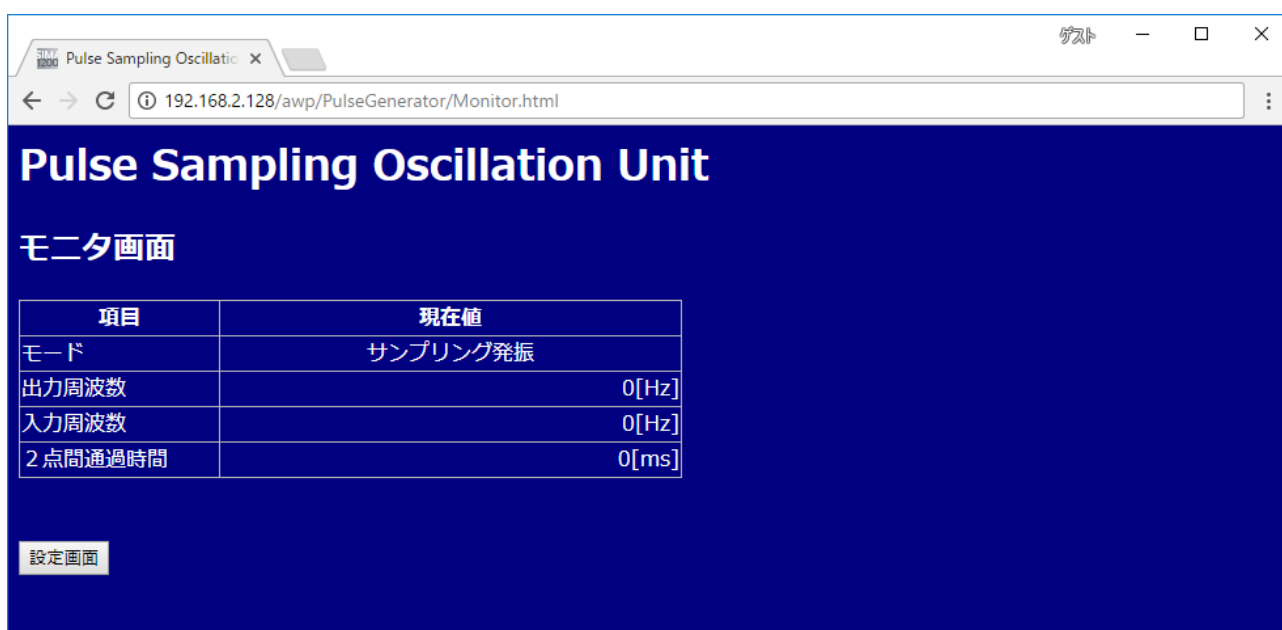
WEB画面には下記があります。

画面名称	概要
モニタ画面	現在のモードと動作状況を確認出来ます。
設定画面	各種設定を変更することが出来ます。

5.1.1. モニタ画面

現在のモードと動作状況を確認出来ます。本画面の値は3秒毎に自動更新します。

下部の[設定画面]ボタンをクリックすることで『設定画面』（5.1.2. 設定画面）参照）を表示します。



表示項目は下記の通りです。

設定値	内容
モード	現在実行中のモードを表示します。
出力周波数	内部発振中の周波数を表示します。0[Hz]の場合『[PLSOUT+/-]出力パルス』へは、『[PLSIN+/-]入力パルス』の内容が出力されています。
入力周波数	『[PLSIN+/-]入力パルス』への入力周波数の現在値を表示します。モード、内部発振中の如何にかかわらず、入力があれば表示されます。
2点間通過時間	2点間計測モード時の最後の通過時間が表示されます。

5.1.2. 設定画面

本機の各種設定を変更することが出来ます。設定項目の内容については「4.1. 設定項目一覧」及び「4.2. パラメータ設定項目詳細」を参照下さい。

各項目の設定値を変更後[変更]ボタンをクリックすると即時に設定値が反映されます。

下部の[モニタ画面]ボタンをクリックすることで『モニタ画面』（「5.1.1. モニタ画面」参照）を表示します。

設定画面

パラメータ設定

項目	現在値	設定値	備考
モード	サンプリング発振	サンプリング発振 ▼ 変更	
サンプリング発振モード用			
発振条件	[DI3]サンプリング発振 立下り	[DI3]サンプリング発振 立下り ▼ 変更	
自動停止時間	0[s]	0 [s] 変更	0~9999[s](0時無効)
2点間計測モード用			
2点間距離	500[mm]	500 [mm] 変更	1~9999[mm]
パルスレート	0.10000000[mm/pulse]	0.10000000 [mm/pulse] 変更	0.00000001~999.99999999[mm/pulse]
自動停止距離	0[mm]	0 [mm] 変更	0~99999[mm](0時無効)
固定発振モード用			
停止条件	無効	無効 ▼ 変更	
発振周波数	10000[Hz]	10000 [Hz] 変更	1~100000[Hz]
各モード共通			
停止条件	[DI4]パルス出力停止 立上り	[DI4]パルス出力停止 立上り ▼ 変更	

インターフェース設定

項目	現在値	設定値
IPアドレス	192.168.2.128	192 . 168 . 2 . 128
サブネットマスク	255.255.255.0	255 . 255 . 255 . 0
ゲートウェイ	0.0.0.0	0 . 0 . 0 . 0
設定		変更

モニタ画面

5.2. タッチパネル機能（オプション）

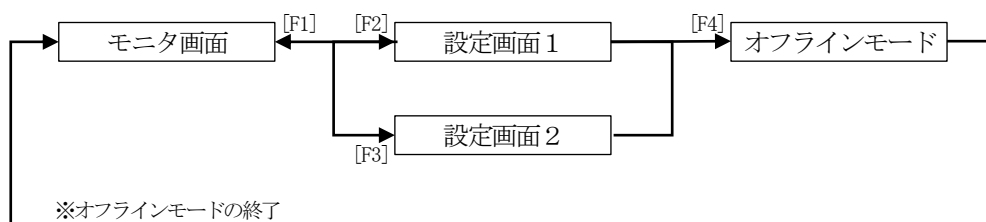
タッチパネルをオプションで付けることができます。タッチパネルは本機正面の ETHERNET ポートを使用して接続します。

出荷時の通信設定は、（タッチパネル側）IP アドレス「192.168.2.129」、接続先（本機本体側）IP アドレスは「192.168.2.128」になっています。

タッチパネルの画面には下記があります。

画面名称	概要
モニタ画面	現在のモードと動作状況を確認出来ます。
設定画面 1	「サンプリング発振モード」「2点間計測モード」用の設定を変更することが出来ます。
設定画面 2	「固定発振モード」用及び「各モード共通」の設定を変更することが出来ます。
オフラインモード	タッチパネル自身のシステム設定を変更することが出来ます。主にタッチパネルの通信設定を変更する際に使用します。 本画面へ移行する為には、Login が必要です。

各画面の遷移は下記の通りです。



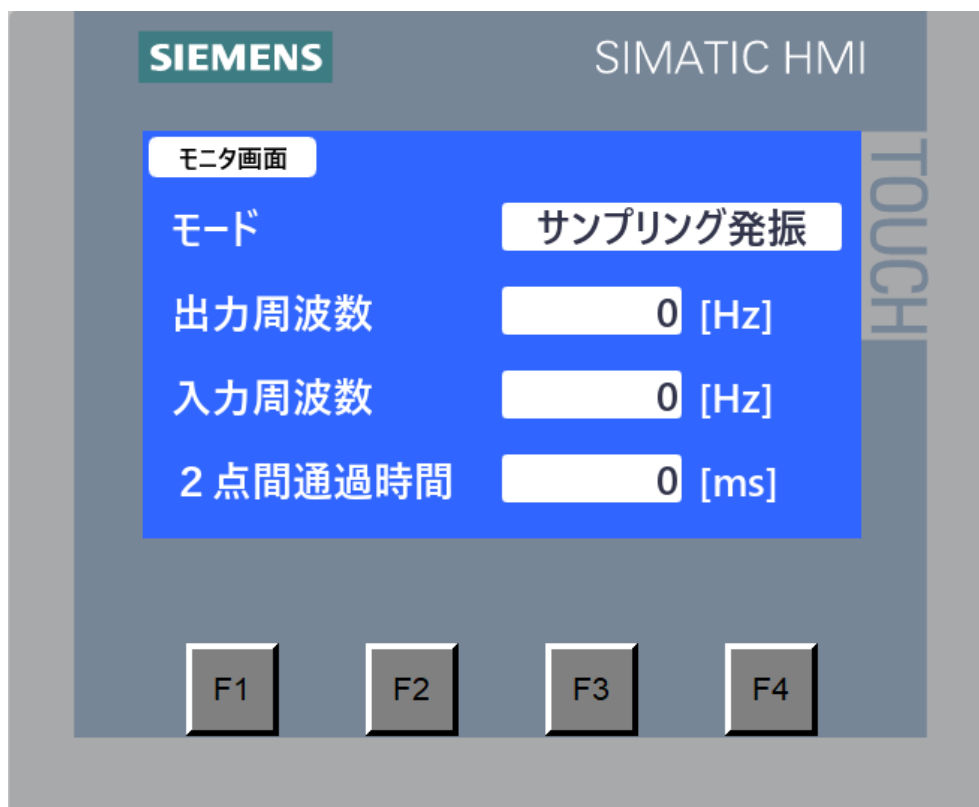
※[F1]～[F4]は、タッチパネル下部（画面外）の物理スイッチです。

※「オフラインモード」への移行は、Login（権限の獲得）が必要です。

5.2.1. モニタ画面

現在のモードと動作状況を確認出来ます。

下部の[F2]ボタンを押すことで『設定画面1』（5.2.2. 設定画面1）参照）、[F3]ボタンを押すことで『設定画面2』（5.2.3. 設定画面2）参照）を表示します。



表示項目は下記の通りです。

設定値	内容
モード	現在実行中のモードを表示します。
出力周波数	内部発振中の周波数を表示します。0[Hz]の場合『[PLSOUT+/-]出力パルス』へは、『[PLSIN+/-]入力パルス』の内容が出力されています。
入力周波数	『[PLSIN+/-]入力パルス』への入力周波数の現在値を表示します。モード、内部発振中の如何にかかわらず、入力があれば表示されます。
2点間通過時間	2点間計測モード時の最後の通過時間が表示されます。

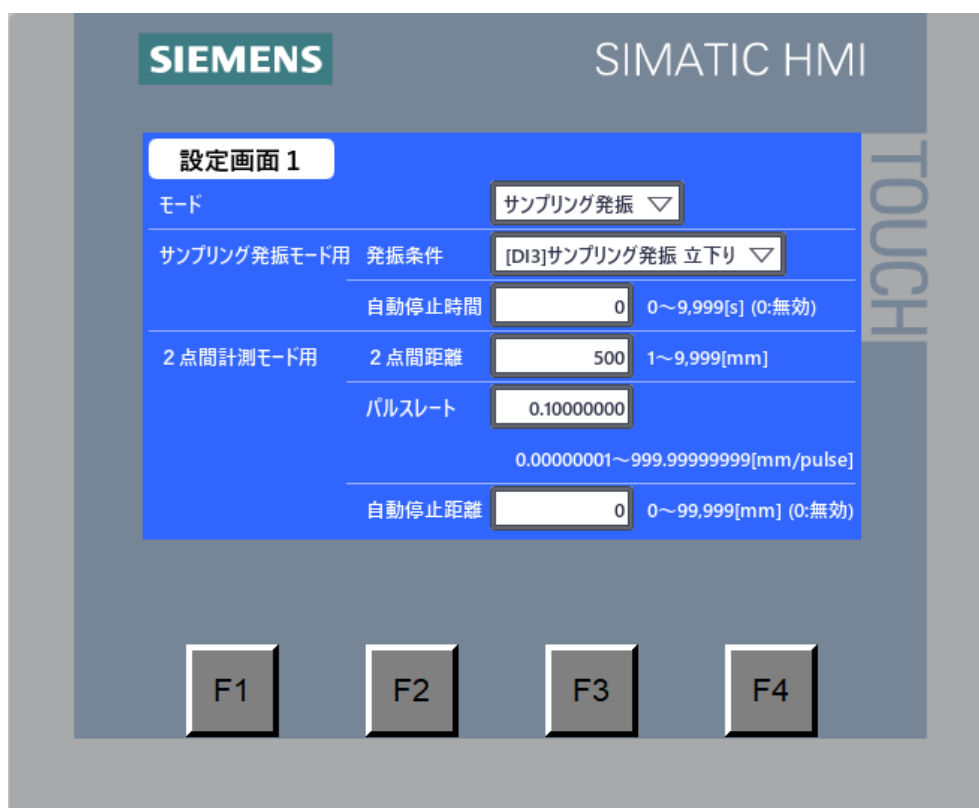
5.2.2. 設定画面 1

本機の各種設定を変更することが出来ます。設定項目の内容については「4.1. 設定項目一覧」及び「4.2. パラメータ設定項目詳細」を参照下さい。

各項目の設定値を変更後、即時に設定値が反映されます。

下部の[F1]ボタンを押すことで『モニタ画面』（5.2.1. モニタ画面 参照）を、[F3]ボタンを押すことで『設定画面 2』（5.2.3. 設定画面 2 参照）を表示します。

また、[F4]ボタンを押すことでタッチパネルをオフラインモードへ移行します。オフラインモード（5.2.5. オフラインモードでの操作 参照）へ移行する際に権限の確認の為に『Loginウィンドウ』（5.2.4. Loginウィンドウ 参照）が表示されます。権限獲得後、再度[F4]を押すとオフラインモードへ移行します。



※「モード」は、『設定画面 1』『設定画面 2』に同じものが表示されています。

5.2.3. 設定画面2

本機の各種設定を変更することが出来ます。設定項目の内容については「4.1. 設定項目一覧」及び「4.2. パラメータ設定項目詳細」を参照下さい。

各項目の設定値を変更後、即時に設定値が反映されます。

下部の[F1]ボタンを押すことで『モニタ画面』（5.2.1. モニタ画面 参照）を、[F2]ボタンを押すことで『設定画面1』（5.2.2. 設定画面1 参照）を表示します。

また、[F4]ボタンを押すことでタッチパネルをオフラインモードへ移行します。オフラインモード（5.2.5. オフラインモードでの操作 参照）へ移行する際に権限の確認の為に『Loginウィンドウ』（5.2.4. Loginウィンドウ 参照）が表示されます。権限獲得後、再度[F4]を押すとオフラインモードへ移行します。



※「モード」は、『設定画面1』『設定画面2』に同じものが表示されています。

5.2.4. Loginウィンドウ

一部機能の実行時に権限の確認が行われます。『Loginウィンドウ』が表示された際には、所定のユーザIDとパスワードを入力し権限を獲得して下さい。権限獲得後、再度機能を選択すると実行できます。権限を必要とする操作の実施は、保証の範囲外となります。十分注意して実施下さい。



Loginに必要なユーザー情報は下記の通りです。

設定値	内容
User	Administrator
Password	pass

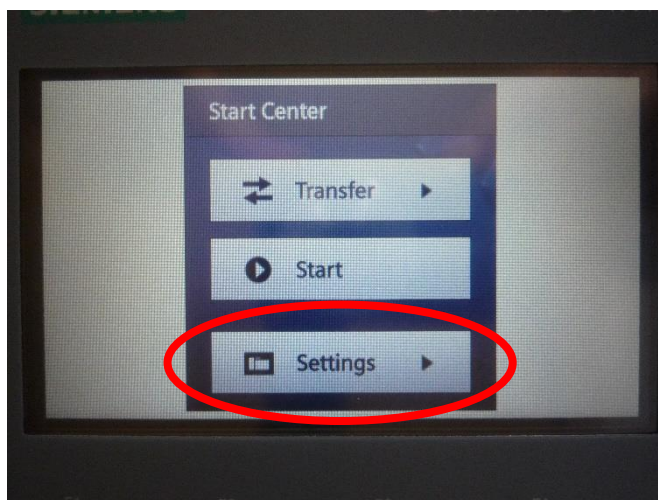
5.2.5. オフラインモードでの操作

タッチパネルのオフラインモードでは、タッチパネル自身のシステム設定を変更することが出来ます。オフラインモードでの操作は、保証の範囲外となりますのでご注意ください。

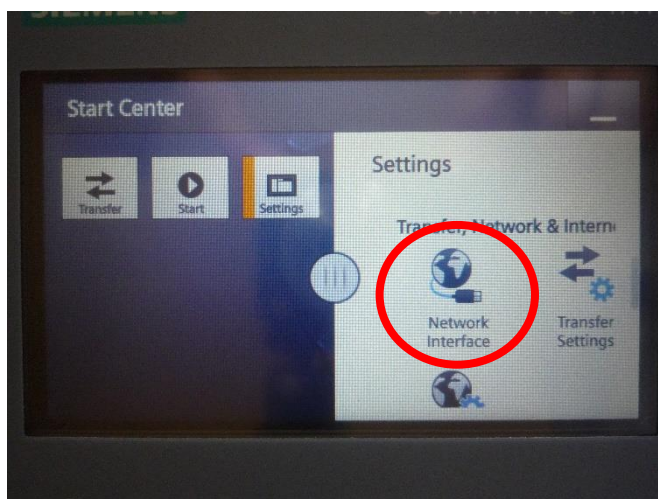
本章では、タッチパネルの IP アドレス及び、接続先 IP アドレスの変更について記載します。

【IP アドレスの変更方法】

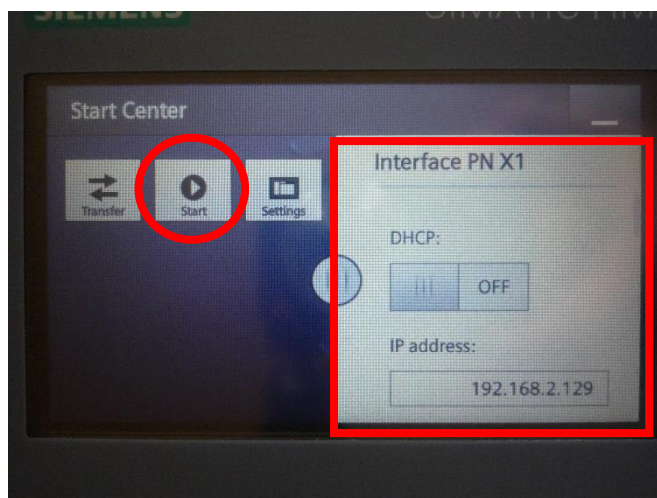
- ① オフラインモードへ移行します（「5.2.2. 設定画面 1」「5.2.3. 設定画面 2」参照）。システムのシャットダウン後『Start Center』画面が表示されます。
- ② 『Start Center』画面から、[Settings]をタッチします。



- ③ 『Settings』のメニューより[Network Interface]をタッチします。（画面右に表示されるメニューを下にスクロールすると表示されます。）

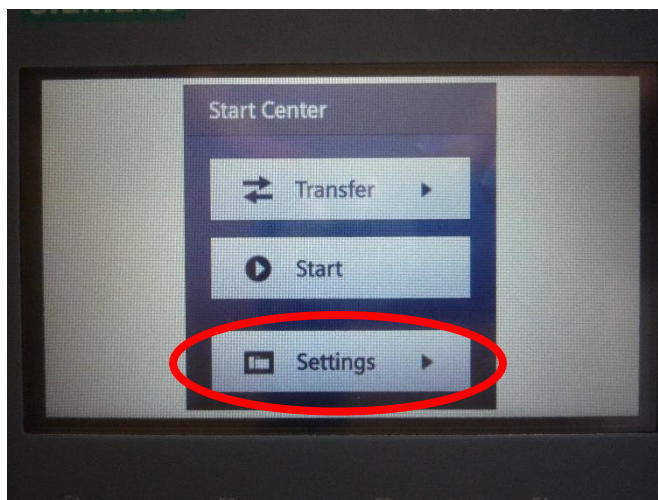


- ④ 『Interface PN X1』 の設定画面が表示されますので、タッチパネルのネットワーク設定を行います。設定後、画面左に表示される[Start]をタッチすることで、オンラインへ戻ります。

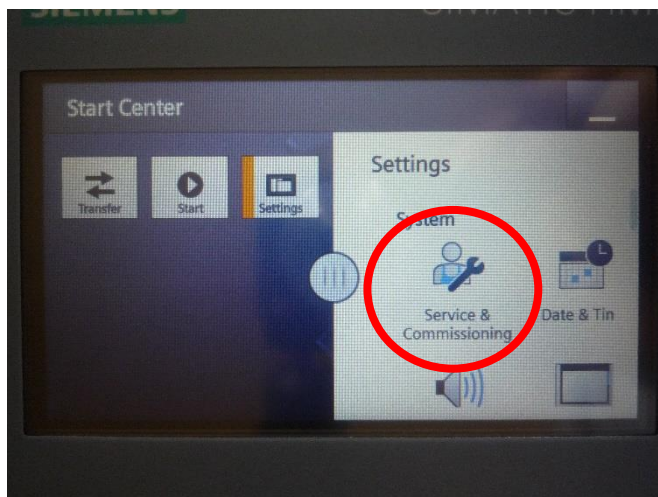


【接続先 IP アドレスの変更方法】

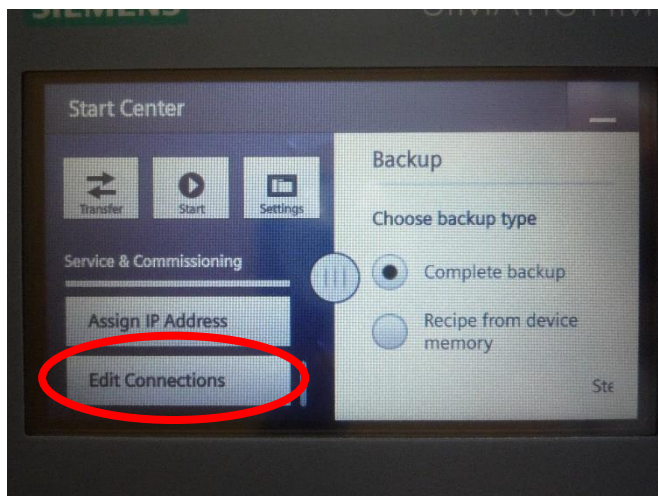
- ① オフラインモードへ移行します（「5.2.2. 設定画面 1」「5.2.3. 設定画面 2」参照）。システムのシャットダウン後『Start Center』画面が表示されます。
- ② 『Start Center』画面から、[Settings]をタッチします。



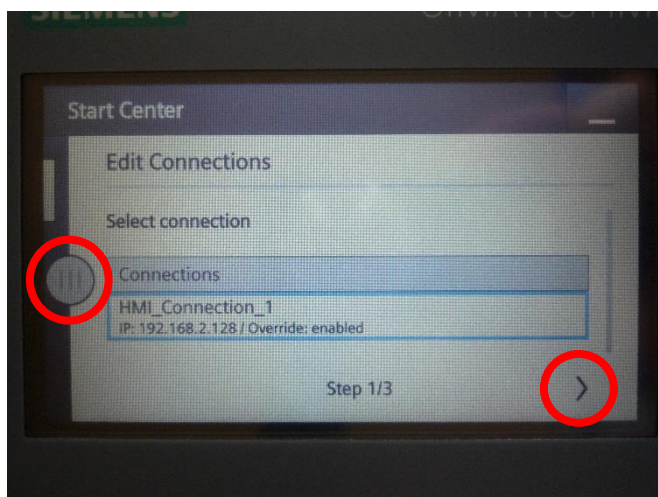
- ③ 『Settings』のメニューより[Service & Commissioning]をタッチします。



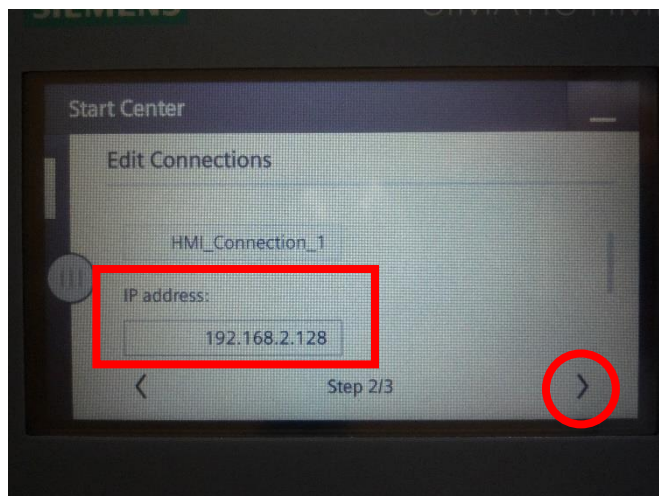
- ④ 『Service & Commissioning』のメニューより[Edit Connections]をタッチします。(画面左に表示されるメニューを下にスクロールすると表示されます。)



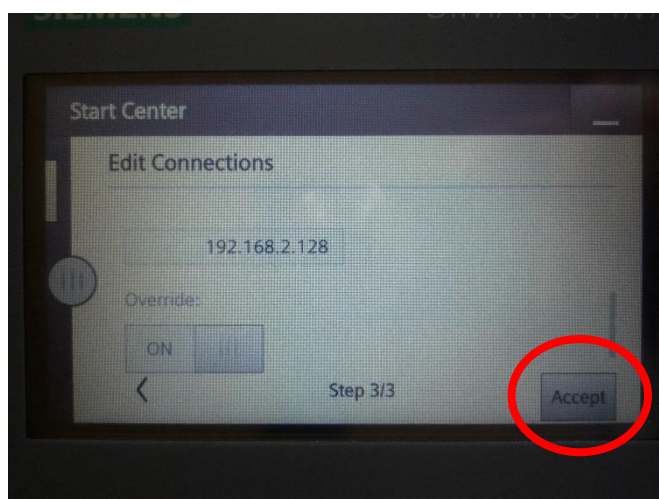
- ⑤ 『Edit Connections』(Step 1/3)画面の中央にある  記号をタッチし設定画面を最大化します。右下に表示された[>]をタッチします。




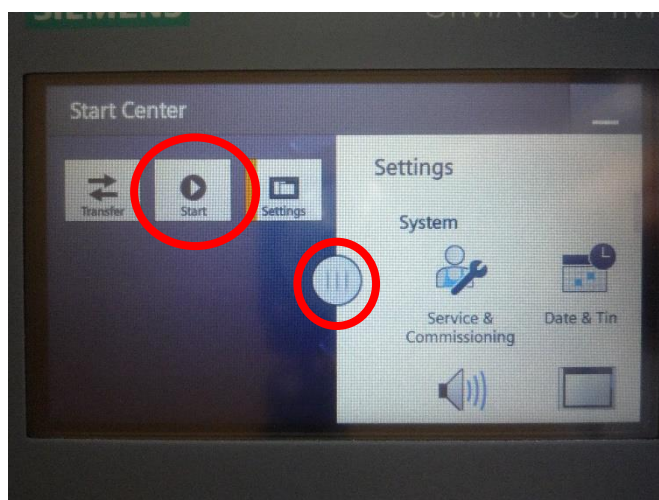
- ⑥ 『Edit Connections』 (Step 2/3)画面の[IP address]に接続先の IP アドレスを入力します。(下にスクロールすると表示されます。) 入力後、右下に表示された[>]をタッチします。



- ⑦ 『Edit Connections』 (Step 3/3)画面で変更内容を確認後、右下に表示された[Accept]をタッチします。



- ⑧ 『Settings』のメニューに戻りますので、画面左にある  記号をタッチしメニュー画面を縮めます。画面左に表示される [Start] をタッチすることで、オンラインへ戻ります。



5.3. 本体ネットワーク設定の初期化

本機のインターフェース設定の初期化を行う方法は、下記の通りです。インターフェース設定以外は初期化されません。タッチパネル（オプション）をご使用の場合、インターフェース設定が変わると通信出来なくなります。タッチパネルのインターフェース設定を別途実施下さい。

※インターフェース設定内容が分からなくなってしまった場合、WEB機能を使用することが出来ません。インターフェース設定は、WEB機能でのみ変更が可能です。

- ① 『[DI1]計測開始トリガ』『[DI2]計測終了トリガ』『[DI3]サンプリング発振』『[DI4]パルス出力停止』『[DI5]固定周波数発振』の全てをONにします。（[DI1]～[DI5]全てを[-COM]と短絡）

6. 付録

6.1. 諸元

本体

型式	PSOU1	
入力電源	電圧	AC100～240V (許容範囲AC85～264V)
	周波数	50/60Hz
	電流	AC100V入力時：0.45A以下, 0.34A _{typ.} AC200V入力時：0.25A以下, 0.22A _{typ.}
	遮断容量	2A ※サーキットプロテクタによる
	突入電流	AC100V入力時：17.5A以下, 14A _{typ.} AC200V入力時：35A, 28A _{typ.}
入力パルス	入力信号形態	無接点スイッチ (オープンコレクタ)
	入力周波数	MAX 100kHz
	入力検出電圧	DC12V
	動作入力条件	オフ：4kΩ以上/6V以上 オン：1.3kΩ以下/4V以下
出力パルス	出力信号形態	オープンコレクタ
	出力周波数	MAX 100kHz
	出力定格	DC50V, 50mA
	飽和電圧	DC0.5V
	過電流保護	なし
デジタル入力	入力信号	シンク入力 (オープンコレクタまたは接点入力) ※接点入力時はチャタリングノイズ無き事。
	定格電圧	DC24V
	定格電流	4mA
	動作入力条件	オフ：DC15V以上/2.5mA以上 オン：DC5V以下/1mA以上
	フィルタ時間	0.2ms
通信	ポート数	1
	通信形態	イーサネット
	通信速度	10/100Mbps
	接続形態	RJ-45
タッチパネル 用電源出力	電源電圧	DC24V
	電流	MAX 0.7A まで使用可能
重量	5.0kg オプションタッチパネル, 取付金具装着時 6.4kg DINレール取付時 1.5kg	
寸法	430w×161.5h×230d 単位：mm 本体取付金具装着時：480w×161.5h×230d オプション (タッチパネル, タッチパネル取付金具) 装着時 ：430w×331h×230d DINレール取付時 ：550w×180h×105.2 (配線スペース含む)	

本体

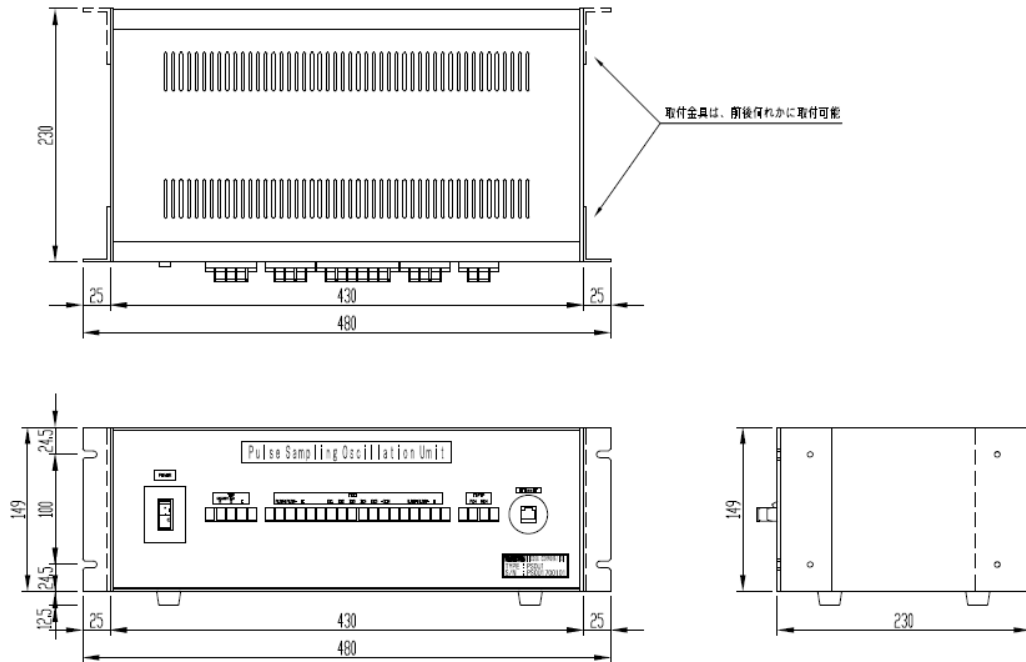
使用環境	温度	0～45℃
	湿度	30～90%RH 結露なき事
保存環境	温度	0～55℃
	湿度	30～90%RH 結露なき事
その他	換気	自然換気
	保護構造	なし

タッチパネル（オプション）

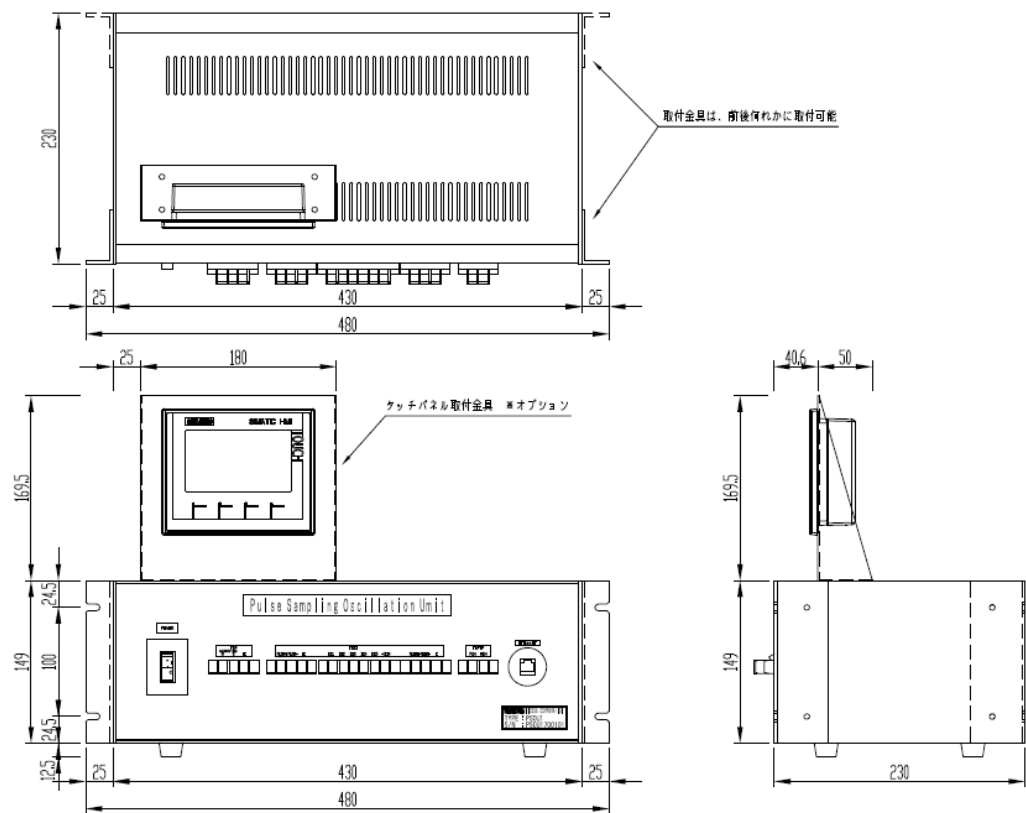
型式	6AV2123-2DB03-0AX0（シーメンス社製）	
電源	電圧	DC24V（許容範囲19.2～28.8V）
	消費電流	0.12A, 0.1mA _{typ}
	保護	電子式
ディスプレイ	タイプ	TFT LCD
	表示サイズ	95w×53.8h 単位：mm（4.3インチ）
	解像度	480×272ピクセル
	表示可能色	256色
	コントラスト コントロール	なし
	輝度制御	あり
	バックライト	LEC ※半輝度寿命 50,000時間
入力デバイス	タイプ	タッチスクリーン，アナログ抵抗式
	ファンクシ ョンキー	4
重量	0.84kg	
寸法	140w×116h×46.2d 単位：mm	
使用環境	温度	-20～60℃
	湿度	10～90%RH 結露なき事
通信	通信形態	イーサネット
	通信速度	10/100Mbps
	接続形態	RJ-45

6.2. 外形図

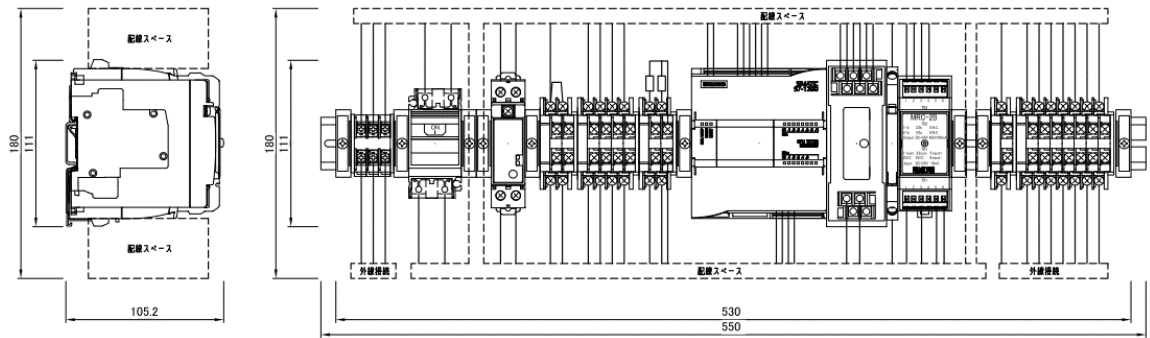
本体のみ



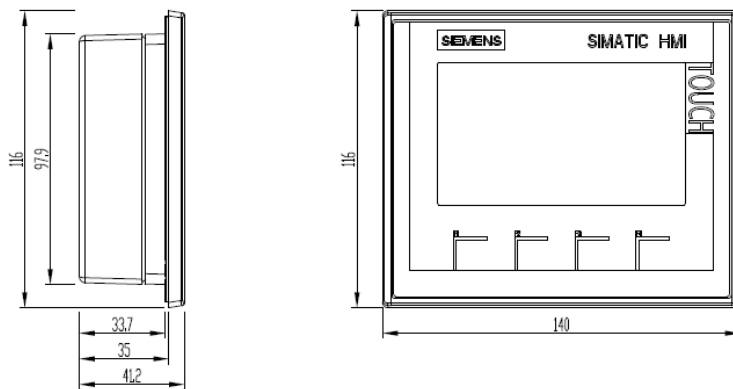
オプション（タッチパネル、タッチパネル取付金具）装着時



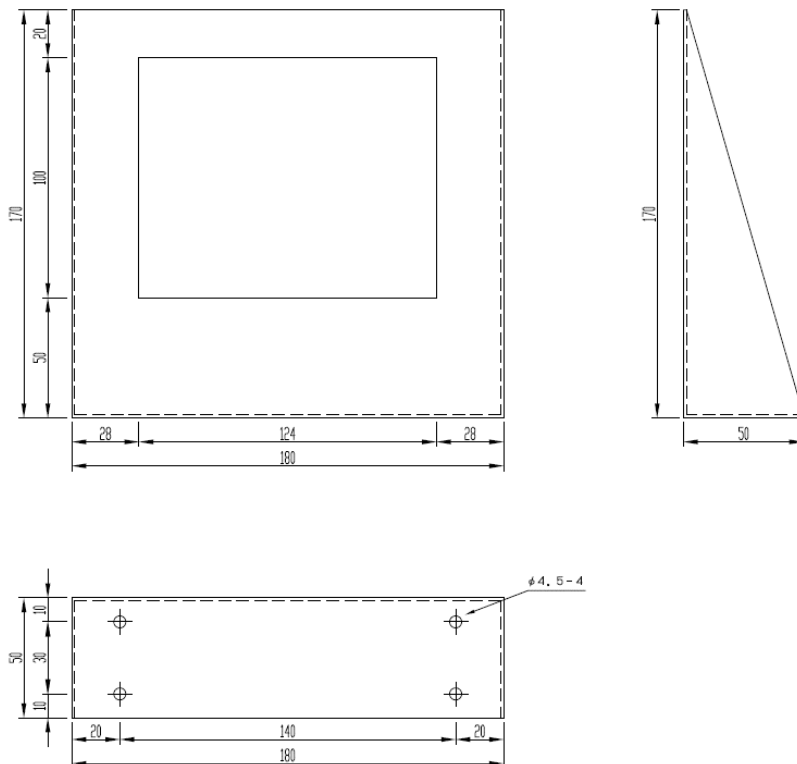
DINレール取付時



タッチパネル (オプション)



タッチパネル取付金具 (オプション)



6.3. 設定表

■ パラメータ設定

項目	設定範囲	出荷時	設定値
モード		サンプリング発振	<input type="checkbox"/> サンプリング発振 <input type="checkbox"/> 2点間計測 <input type="checkbox"/> 固定発振
サンプリング発振モード用			
発振条件		[DI3]サンプリング発振 立下り	<input type="checkbox"/> [DI3]サンプリング発振 立上り <input type="checkbox"/> [DI3]サンプリング発振 立下り
自動停止時間	0~9,999[s]	0[s]	[s]
2点間計測モード用			
2点間距離	1~9,999[mm]	500[mm]	[mm]
パルスレート	0.0000001 ~999.99999999[mm/pulse]	0.1[mm/pulse]	[mm/pulse]
自動停止距離	0~99,999[mm]	0[mm]	[mm]
固定発振モード用			
停止条件		無効	<input type="checkbox"/> 無効 <input type="checkbox"/> [DI5]固定周波数発振 立下り
発振周波数	1~100,000[Hz]	10,000[Hz]	[Hz]
各モード共通			
停止条件		[DI4]パルス出力停止 立上り	<input type="checkbox"/> [DI4]パルス出力停止 立上り <input type="checkbox"/> [DI4]パルス出力停止 立下り

■ インターフェース設定 (※WEB機能からのみ設定可)

項目	出荷時	設定値
IP アドレス	192.168.2.128	
サブネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	0.0.0.0	

■ タッチパネル設定 (※オプション)

項目	出荷時	設定値
DHCP	OFF	<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF
IP アドレス	192.168.2.129	
サブネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	0.0.0.0	
接続先 IP アドレス	192.168.2.128	